

## ○三河港防波堤(北)のケーソン等製作工事

現在、豊橋市明海町にある当所所有のヤード内で、防波堤(北)の本体となる逆T字型のケーソン(バットレスケーソン)を6函製作しています。ケーソンとは水中構造物や地下構造物を構築する際に用いられる、コンクリート製又は鋼製の大型の箱のことです。防波堤(北)は冬に多い北西からくる波やうねりを防ぎ、港内の船舶航行の安全や神野地区や大崎地区、田原地区等の荷役作業の効率化に効果があります。



コンクリート打設状況

三河港のケーソンはコンクリート製で、底面幅5.9m、長さ9m、高さ8.5mです。高さが8.5mと高いことから、コンクリートを打設する際は材料の分離や締固めの不備を防ぐため3層(1層目は2.5m、2層目・3層目は3.0m)に分けてコンクリートポンプ車を使用して打設します。

1月15日現在では2函のケーソンのコンクリート打設が完了しており、残り4函は1層目又は2層目までコンクリート打設が完了しています。

### ☆お知らせ☆

### 平成22年三河港潮位表をホームページにアップしました

潮位表には三河港における満潮と干潮の時刻と潮位、毎正時ごとの潮位が掲載されています。

台風による高潮や津波などの異常な気象の影響は考慮していないため、時には相当の偏差を現わすことがあります。釣りや潮干狩り等の参考にいただければと思います。是非ご活用下さい。



↓三河港湾事務所ホームページはこちら↓  
<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

★ホームページで、Mini-WANバックナンバーをご覧いただけます。★

# 2010年1月号 Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.35)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

### ■巻頭コラム

#### ■最近のトピックス

- 国・県合同安全パトロールを実施
- 中山水道航路について
- 表浜ネットワークが中部の未来創造大賞優秀賞を受賞
- 平成21年度 第2回三河港BCP研究会
- 三河港防波堤(北)のケーソン等製作工事
- お知らせ
- 平成22年三河港潮位表をホームページにアップしました

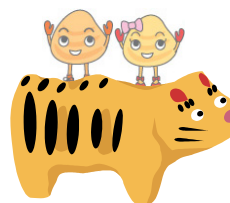
### ☆CONTENTS☆



### ☆巻頭コラム☆

### 三河港湾事務所長 平井 洋次

新年明けましておめでとうございます。年末年始の冬休みもあっという間に終わり、寅年が始まりました。今年は、熱田神宮にお参りに行きました。引越しをするたびに、どこにお参りにいこうかと探すのですが、今回は、桶狭間の戦い時に織田信長が戦勝祈願をしたという事で、名前だけは知っていたので、行ってみました。さすがに人が多い。駅から近いので大変行きやすいということもあるかと思えます。本当は、きしめんでも食べようかと思ったのですが、人が多すぎて諦めました。次回は挑戦してみたいと思います。



さて、色々なところで寅年というのは、・・・という話を聞きましたが、まさに今年は「虎穴に入らずんば、虎児を得ず」という感じでしょうか。昨年来、様々な面で当事務所においてもこれまで経験したことがないことばかりでした。そして、これから先も暗中模索という日々が続くのだと思います。そのような時だからこそ、大きな成果をあげるためには、思い切って冒険をしなければならないのだと思います。ということを自分に言い聞かせるところです。

### 「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

お問い合わせ 0120-497-370

受付時間※/9:00~12:00と13:00~17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>  
E-mail [info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp](mailto:info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp)

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

## ☆最近のトピックス☆

### ○国・県合同安全パトロールを実施

12月9日に毎年恒例となった、当所、愛知県三河港務所及び愛知県企業庁三河港工事事務所の3官署合同安全パトロールが行われ、今年の「ミスみなと」に選ばれた「港の女王」「船の女王」「海の女王」の3女王が同行事に参加し、華を添えました。午前は3人の女王が各官署を訪れ、一日所長として文書決裁行い、また、所内巡回を行いました。



当所一日所長の「海の女王」吉川沙也加さん

午前から午後にかけて3官署それぞれの工事現場を訪れ、担当者から工事の概要説明を受けた後、現場作業員を前に「建設作業における労働災害は一瞬のスキに起こるもの、日頃の監査・点検が重要」と訓示し、現場代理人に「チェックリスト」を手渡しました。

当所を担当していただいた「海の女王」吉川沙也加（さやか）さんは、市内の大学に通う学生で、礼儀正しくハキハキした方でした。



現場視察のミスみなとの皆さん

### ○中山水道航路について

中山水道航路と聞いて場所が思い浮かぶ方は、きっと伊勢湾通です。しかし、伊良湖水道航路という、知っている方も多くなるのではないのでしょうか。

伊良湖水道航路は、愛知県田原市の伊良湖岬と三重県鳥羽市の神島の間にある伊勢湾の玄関口です。

一方、中山水道航路は、知多半島と渥美半島の間にある幅700m長さ2,900mの航路で、三河湾への玄関口に当たります。

どちらも、多くの船舶が航行する重要な航路となっています。

中山水道航路は、浅瀬や暗礁が点在するため大型船舶の航行が制限されるなど、三河湾の港への出入りに支障をきたしていました。

そこで、中山水道航路は開発保全航路の指定を受け、より喫水の深い大型船舶が安全に航行できるよう整備されることとなりました。中山水道航路の整備は、平成11年度～平成16年度までの浚渫（しゅんせつ）工事で、大型船舶が制限を受けずに航行できるよう海底を水面下14mの深さまで掘り下げられ、これまで航行が難しかった船舶も安全に航行できるようになりました。

また、航路の整備は、三河湾内の環境改善にも大きな役割を果たしました。浚渫した土砂はとても良質な砂であったことから、海底の有機汚泥の上に撒いてきれいな海底を作り出す「覆砂」や、アサリなどの生き物が多く生息できる「浅場」「干潟」を湾内にたくさん作り出すなど、三河湾の環境改善に有効活用されました。

当所では、中山水道航路の必要水深維持や異常の確認を行うとともに、航路で観測した水質などの情報を公開し、伊勢湾・三河湾の現状や環境変化のメカニズムなどの研究に役立てています。

伊勢湾環境データベース：<http://www.isewan-db.go.jp/>



中山水道航路の位置

### ○表浜ネットワークが中部の未来創造大賞優秀賞を受賞

12月14日、中部の未来創造大賞実行委員会が主催する「第10回 中部の未来創造大賞」の表彰式が開催されました。

この賞は、社会資本の整備だけでなく、その維持・活用や環境保全、地域の持つ歴史と伝統への配慮などを総合的に考えた活動を表彰し、広く一般に紹介することで、中部の地域づくりに役立てるものです。

大賞は、長野県の白馬山麓で地元消防署職員の雪崩搜索訓練指導や、雪崩救助犬の訓練、観測結果をもとに独自で雪崩危険度の発信を行っている「NPO法人ACT」が受賞しました。

当事務所管内でも、豊橋市の表浜海岸で“アカウミガメのふるりの再生”をテーマに、地元の教育・研究機関、企業と協働して、次代を担う子ども達との環境体験学習等の様々な活動を行っている「NPO法人表浜ネットワーク」が優秀賞を受賞しました。

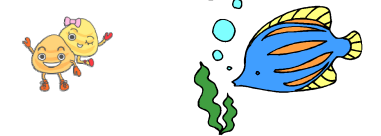
全体で、大賞1件、優秀賞5件、特別賞2件、奨励賞8件の地域に根ざした活動が受賞されています。それぞれの活動は、ホームページ（<http://www.cbr.mlit.go.jp/mirai/>）で紹介されていますので、ぜひご覧ください。



授賞者と表彰委員の皆さんとの記念撮影



ウミガメのたまごを戻す様子



### ○平成21年度 第2回三河港BCP研究会



研究会の様子

11月24日、三河港の臨海部におけるBCM（事業継続マネジメント）を検討する今年度2回目の三河港BCP研究会を実施しました。

前回（8月27日実施）の研究会において確認した、三河港を利用する方々を対象に行ったアンケート結果を元に災害時における港湾に対する期待や課題などを確認し、三河港における防災に対する施策の有り方・方向性などについて議論をしました。

これを踏まえて次回の研究会では、三河港の港湾機能の維持・減災に向けた対応策や被災時における三河港のあり方などについて、具体的な取り組みについて議論したいと考えています。